

読者のページ  
郵便くしまにあ



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

串間市の職員の採用について  
教えてください

●K・Kさん

串間市の職員の採用について教えてください。

最近の経済不況で仕事がなかなか見つかりません。私は職員の雇用について

①職員採用試験  
②臨時的任用による雇用

は広報紙によって知っています  
が、そのほかに

③嘱託職員

がいて聞いています。本当にあるのですか？ あればその雇用方法について知らせてください。

K・Kさんからの便りに総務課からの回答です。

当市では現在、介護認定調査員、介護支援専門員、障害認定調査員など専門性の高い職種に

文化を伝えていくという家庭が、少しでも多く増えていくといいですね。

串間の皆さんへ

●東京都・岩本勝さん

11月3日の秋祭り、1年ぶりに故郷に帰りました。

今回は秋祭りに、在京串間会役員として、また歌謡ショーに私の歌を歌ってくれている小笠原愛美さんも招いていただきお世話になりました。本当にありがとうございました。心より感謝しています。

ショーが終わってすぐ東京に帰らなくてはなりません。友だちが空港へ送ってくれる車の中で小笠原さんは「もう帰りたくない、串間が好き」と何度も繰り返していました。皆さんの温かい心にひかれ、本気で言っているようでした。

本当にいつ帰っても、いくつになっても故郷は良いです。普段会えない人にも会えました。また帰る日を楽しみにしています。

1年ぶりの里帰りでは、秋祭りパレードへの参加、小笠原愛美さんの歌謡ショーなどで、祭りを盛り上げていただき、本当にありがとうございました。

ついで嘱託職員として雇用されています。

雇用方法としては、臨時職員と同様に、市役所総務課備え付けの登録申込書にて申し込みをしていただき、欠員が生じたら採用することとしています。また、登録者がいない場合は、ハローワークなどを通じて募集しています。

交通死亡事故ゼロ3年  
達成へ

●百野達夫さん

串間市は、交通死亡事故ゼロ3年の記録達成運動を展開中である。

本年、6月末で串間市の郵便番号である888日を達成し、実に10月20日で1000日を通した。さらに来年の1月23日で死亡事故ゼロ丸3年の1095日となる。

回はゆっくりする時間がなかったようですが、次回帰ってこられた際には、ゆっくりとふるさと串間を満喫していただけたらと思います。

落語は楽しいですよ

●100番の女さん

今日、吉松邸落語実行委員長高巢さん、三遊亭好太郎さん連名で落語会のお礼状をいただきました。こちらこそお礼を申し上げます。

1回目は串間ではじめての落語会に興奮気味で出かけました。久しぶりに楽しく大いに満足して帰りました。こんな遠い所に来てもらいうれしかったですね。そして実行委員会の方々に「よくぞ落語会をしていただいた」と感謝しました。

2回目は落語会を目前にして師匠の円楽さんの悲報に悲しい思いをしておりますが、前座が加わり、寄席の笑いと楽しさで吹き飛びました。円楽さんのおかげでこの座にいるんだなあと、ご縁をありがたく感じました。円楽さんありがとう。

好太郎師匠、よく串間においでくださいました。ありがとうございます。楽しんでます。そして役員の皆さん、ありがとうございます。これからも

先月自宅近くの国道で、軽自動車が下校途中の児童3人をはねた。救急車も来て付近の住民もショックを受けた。

軽傷であることを祈った。気になって病院へ電話したら「命に別条なし」ということで安堵して喜んだ。

だが、いつ、どこで事故を起こすかは分からない。死亡事故ゼロ3年の目標達成まで、自分が当事者にならないように、緊張感を保ってハンドルを握りたい。

立冬も過ぎ、日増しに寒くなる。年末の繁忙期ともなれば事故の多発が予想される。

市民総ぐるみで来年1月23日までの3年間死亡事故ゼロを期し、土つかずの白星で、輝く金字塔を打ち立てたい。

現在、串間市では交通死亡事故ゼロ3年となる平成22年1月

落語会が串間にずっと根付くことを願っています。次回を楽しみにしています。

串間の皆さん落語は楽しいですよ！ 次回はお会いしましょう！ ありがとうございます。

11月7日に旧吉松家住宅で開催された落語会は、昼夜2回の公演に大勢のお客さんが訪れ大盛況のようでした。

この串間では、生の落語に触れる機会はなかなかない中で、いろんな方から「こんな機会を作ってもらって本当に良かった」という声が聞かれました。落語会を企画・運営された実行委員会の皆さん、本当にご苦労さまでした。

「広報くしま」では皆さんからのお便りをお待ちしています。楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、頭にきたこと、串間市への提言、イラストや写真入りでも結構ですので、どしどしお便りをお寄せください。

また、表紙のご夫婦や、スロークーラー、スロークーナーに登場していただける方も募集しています。自薦他薦は問いませんので、こちらもどしどしご連絡ください。お待ちしております。

23日突破を目指して「交通死亡事故ゼロ1（ワン）・2（ツー）・3（スリー）突破作戦」に取り組んでいます。

日が暮れるのも早く、何かとあわただしい季節です。また、百野さんがおっしゃる通り、交通事故はいつだれが当事者になるか分かりません。

市民のみならず、運転する人もしない人も日ごろから交通安全を心がけておきましょう。

心をこめて！

おいしいお菓子づくり

●ドラえもんポケットさん

広報くしま11月号の美保子さんの手作りのおくまき！ 写真を見て「食べたい！ 作りたい」と思いました。

あめ色に透き通ったあくまき。写真を見ただけでも、味、口当たりのいいように思えてなりません。

わたしもこの串間に嫁いで21年。小さいころから母が何でも手作りしてくれ、料理では私の先輩です。自慢の母です。今でも「お母さんがなんでも上手やっただから、あんたも上手やっちゃねえ」。店でも開かないよ」とほめていただきたびに母に感謝です。

嫁いでは、母と手作りの

って時間はなかなかですが、子どもたちの行事や地区の行事のたびに母の手作りだんごを自慢げにふるまう私がいいます。

嫁に来るのが早かったのも何もない私でしたが、実家の母のおかげで、姑の手も借りず立派に家事をまかなえています。

美保子さんのように人のお手本になれるように、私も大好きなお菓子づくり、料理を楽しみたいと思います。気持ち、心を込めて作る。大切なことだと思います。

自分で作れない、やらないでいて、作れる人をねたんだり、「ひまやからよ」と言ったりする人たちつてさみしいもんですよ。

美保子さん、お元気で、おいしいお菓子づくり頑張ってください。

広報くしま11月号「スロークーラー」コーナーの「あくまき」。美保子さんの心のこもった手作りのお菓子です。このような昔ながらのお菓子をこれからも残し伝えていきたいものです。しかし、美保子さんやドラえもんさんのようなように、お母さんから作り方を習うということも、今となってはなかなか難しいことなのかもしれないですね。

お二人のように親から子へ食

市民憲章

- わたしたちは、
1. 豊かな自然を大切に、これをいかにしましょう。
  1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
  1. 健康で働くことに誇りを持ち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
  1. だれにも親切にし老人をいたわり、子どもに夢と、しあわせをあたえましょう。
  1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木/そてつ ◎市の花/かんな  
◎市の鳥/めじろ ◎市の花木/山桜  
◎人口 20,655人 (前月比 -8)  
男 9,487人 女 11,168人  
世帯数 8,743世帯

(平成21年12月1日現在)

お待ちしております

◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、医療講座に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

↓点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)